

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 第 2 回 学生交流委員会
議事次第

日 時：2024 年 6 月 18 日（火）14:30～16:30

場 所：神戸学院大学 神戸三宮キャンパス

委員校：神戸常盤大学（委員長校）・神戸学院大学（副委員長校）

芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、
関西学院短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、
神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、
神戸女子短期大学、神戸親和大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、姫路大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

計 26 校

I. 協議事項

1. 取組 2 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」における謝礼について（資料 1）
2. その他

II. 報告事項

1. 2024 年度 定時総会 (資料 2)
2. 令和 6 年能登半島地震被害に対する義援金について (資料 3)
3. 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて (資料 4)
4. 2024 年度 学生交流委員会事業の進捗について
 - 1) 「地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動」
（日本財団ボランティアセンターとの共催）について (資料 5)
 - 2) 「ナガセケムテックスプレゼンツ
ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト」学生募集について (資料 6)
 - 3) 「兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project」
未来へつなごう！万博展 学生運営スタッフ募集について (資料 7)
5. 若者による「震災の教訓をつなぐプロジェクト」について (資料 8)
6. 「ひょうごボランティアプラザ 第 1 回ボランティアバス」について (資料 9)
7. その他

III. 意見交換

1. 能登半島地震学生ボランティアについて (資料 10)
2. 阪神・淡路大震災 30 年に向けて (資料 11)
3. その他

IV. 連絡・調整事項

1. 第 5 期役員体制について
2. その他

以上

<配布資料>

資料 1-1 : 【取組 2】 学生発信ブランディング「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」について

資料 1-2 : 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 謝金等支払基準

資料 2 : 2024 年度 定時総会 議事次第

資料 3 : 令和 6 年度能登半島地震に対する義援金のご報告

資料 4 : 第 22 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて

資料 5 : 大学コンソーシアムひょうご神戸×日本財団ボランティアセンター

「地域の子育て支援拠点・子どもの居場所で活動しよう！」参加学生募集チラシ・企画書

資料 6 : ナガセケムテックスプレゼンツ

「ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト」参加学生募集チラシ

資料 7 : 兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project「未来へつなごう！万博展

ひょうごフィールドパビリオン体験ワークショップ」学生運営ボランティアスタッフ募集チラシ

資料 8 : 若者による「震災の教訓を繋ぐプロジェクト」業務仕様書(案)

資料 9 : 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（事務局：ひょうごボランタリープラザ）

令和 6 年度「石川県珠洲市への災害ボランティアバスの派遣」

資料 10 : 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における「令和 6 年度能登半島地震」支援に関する取組
アンケート結果

資料 11 : 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における阪神・淡路大震災 30 年を迎える取組
アンケート結果

【取組2】学生発信ブランディング「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」について

1.大学コンソーシアムひょうご神戸 note「地域で輝く学生」掲載状況(年度・学校別)

計56取組(2022年度28取組・2023年度25取組・2024年度3取組)

※2024年6月現在

委員校	掲載校	2022	2023	2024	2022 -2024	掲載数
-	明石工業高等専門学校		1		1	39
1	芦屋大学	2			2	
2・3	大手前大学・大手前短期大学				0	
4	関西国際大学	2			2	
5	関西学院大学	3	1	1	5	
6	関西学院短期大学(聖和短期大学)				0	
-	芸術文化観光専門職大学		1		1	
7	甲南大学		1		1	
8	甲南女子大学	1			1	
9	神戸大学	1			1	
10	神戸海星女子学院大学	2	1		3	
11	神戸国際大学					
12	神戸学院大学	2	1	2	5	
13	神戸市看護大学				0	
14	神戸松蔭女子学院大学	2	2		4	
15	神戸女学院大学				0	
16・17	神戸女子大学・神戸女子短期大学	1	1		2	
18	神戸親和大学	1			1	
19	神戸常盤大学	1			1	
-	神戸薬科大学		1		1	
20	頌栄短期大学					
21・22	園田学園女子大学・短期大学部	1			1	
23	姫路大学	1			1	
24・25	兵庫大学・兵庫大学短期大学部	1	1		2	
26	兵庫県立大学	2			2	
-	流通科学大学		1		1	
-	姫路獨協大学	1			1	
-	大学コンソーシアムひょうご神戸	4	13		17	17
	合計	28	25	3	56	56

【取組2】学生発信ブランディング「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」について

2. 事業計画(2024年度)と実績報告(2022年度－2023年度)

取組2	学生発信ブランディング「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	2024年度予算	240,000円
目的	大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進。 以下の取組課題について事業推進を行う。 取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」 年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることが できるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。 上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。		
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
課題を解決する 取組概要	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施		
達成目標	情報公開数200取組以上		
活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年		
2024年度事業計画 (4月記載)	◆地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例の紹介 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに、加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を公開する。また必要 に応じて、様々なメディア等への告知を検討・計画する。 <内容> 加盟校からの情報提供をもとに、地域で若者が活躍する姿を周知することにより、加盟校による 地域の活性化のための貢献活動に取り組む。		
2022年度～2023年 度達成目標に対する実績	2022年度	2023年度	累計(2か年)
	1. 大学コンソーシアムひょうご神戸HP上 「note」 「地域で輝く学生」28取組掲載	1. 大学コンソーシアムひょうご神戸HP上 「note」 「地域で輝く学生」に25取組掲載	53
	2. 「KISSFM神戸」に2022/7/14、 9/22、12/23、2023/1/26と計4回 出演。 「WILL BE プロジェクト」に参加した学生 (関西学院大学・神戸海星女子大学・神戸 女子大学・甲南大学・兵庫県立大学)が各 回2名(計8名)出演し、コンソ自体の活 動、そして学生交流委員会の活動のPRを 行った。	2. 大学コンソーシアムひょうご神戸HP上 「地域・社会での交流～学生の地域での活 動がわかる～」 加盟校の地域連携・社会連携情報リンクを 集約。38校掲載	5
	3. 取組1-1で、参加したイベント関連の 広報をSNSを活用し、学生が自ら発信し た。計25投稿。	—	25
	4. メディア掲載 ・「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネス コンテスト」に関して、神戸新聞に取材記 事が掲出された(2022/9/27朝刊、 2022/11/2夕刊、2023/1/9姫路版・ 計3回)	3. メディア掲載 ・神戸新聞2024年1月21日付「ヴィクト リーナ姫路のファン拡大策、神院大の企画 が最優秀賞に10大学参加、ホーム戦で実 践も」(ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネ スコンテスト取材記事) ・神戸新聞2024年3月25日付「体験型 観光で訪日客を兵庫に 万博に向け学生 プロジェクト講習会」(兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project取 材記事)	5
取組数			88

3. 大学コンソーシアムひょうご神戸HP上「note」「地域で輝く学生」 5か年掲載予定(案)

情報提供者	2022	2023	2024	2025	2026	累計(5か年)	
大学主催の取組 (学生交流委員校)	24	8	52	52	52	188	188
	随時受付		年2回情報提供(前期・後期各一回など)				
(学生交流委員会に 登録していない加盟校)	0	4	5	5	5	19	51
コンソ事業 (コンソ事務局)	4	13	5	5	5	32	
	コンソ事務局にて、随時依頼・作成						
合計	28	25	62	62	62	239	

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
謝金等支払基準

1. 委員会等出席報酬

委員長	なし
委員等	なし

2. 講演料

1 回	一般講演謝金	特別講演謝金
講演謝金	30,000 円	50,000 円

3. 講座等講師料（研究集会、講義、イベント等における講師に対する謝金）

一般講義謝金	1 時間 7,000 円
--------	--------------

4. 指導、助言謝金（研究集会、講義、イベント等における指導、助言に対する謝金）

指導、助言謝金	1 時間 5,000 円
---------	--------------

5. 上記以外の謝金（講師謝金以外の謝金）

技術支援費	研究集会、講義、イベント等で専門的な技術支援を依頼した場合に支払う謝金	1 時間 7,000 円
通訳謝金	研究集会、講義、イベント等で通訳を依頼した場合に支払う謝金	1 時間 7,000 円
翻訳謝金	研究集会、講義、イベント等で翻訳を依頼した場合に支払う謝金	日本語 400 字 4,000 円 外国語 200 語 4,000 円
原稿料	パンフレット・報告等に必要原稿作成を依頼した場合に支払う謝金	日本語 400 字 2,000 円 外国語 200 語 2,000 円
資料作成費	資料収集やデーター整理、PPT 作成等を依頼した場合に支払う謝金	1 時間 1,500 円
業務補佐費 (アルバイト)	本法人が実施する業務に必要な補助等を依頼した場合に支払う謝金	一般補佐員： 1 時間 1,500 円 学生補佐員： 1 時間 1,000 円

6. 補足

- ・受託事業等、謝金等支払基準が委託元により定められている場合は、その基準により決定する。
- ・上記は標準的な額を示したものであり、これにより難しい場合は、各委員会若しくは事務局長が当該者の経歴及び事業内容等を勘案して決定する。

この基準は 2021 年 4 月 1 日より施行する

学生交流委員会【取組2】学生発信ブランディング「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」
学生・教職員への謝金等の支払いについて

広報活動 の目的	1)加盟校が自学で実施している各種の事業やコンソの実施事業の広報または実施報告書をコンソのHPに記載して、加盟校の学生や教職員はもとより地域の方々にも広くお知らせし、地域の活性化に寄与する	
	2) 加盟校の学生が自らが拘わった事業への参画とその事業報告を作成することを通して、人材の育成に繋げる	
謝金の 支払対象	加盟校（自学）の事業	コンソ主催（学生交流委員会）の事業
学生	原則、支払わない	原則、支払わない
教職員	原則、支払わない	原則、支払わない

※原則：謝礼が望ましい案件が発生した場合、学生交流委員会で相談を受ける余地はある。

※補足（他委員会での学生広報事業）：企画運営委員会所管「コンソ学生広報チームの活動」について
2023年度より、国際交流委員会事業・キャリア委員会事業等、企画運営委員会事業において、コンソの学生スタッフ（アルバイト）による情報発信を展開しており、2024年度も継続実施。活動は「コンソイベント周知と活動報告」を週1回以上、「インタビュー、学生生活情報」を月1回以上発信する等。アルバイト代として月4,000円＋1企画・取材5,000円（取材交通費含む）を支給。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 定時総会
議事次第

日 時：2024 年 6 月 5 日（水）15:00～16:30

場 所：オンライン会議（ZOOM）

I. 審議事項

第 1 号議案 2023 年度 事業報告・決算（案）について (資料 1)

参加学生発表

- ・国際交流委員会：兵庫県国際交流会館における国際交流拠点事業
- ・学生交流委員会：WILL BE プロジェクト
- ・キャリア委員会：ひょうご留学生インターンシップ
- ・企画運営委員会：企業課題解決プログラム

第 2 号議案 役員の選任について (資料 2)

II. 報告事項

1. 2024 年度 正会員・賛助会員について (資料 3)
2. 2024 年度 事業委員会の委員長校・副委員長校について (資料 4)
3. 2024 年度 事業計画・予算について (資料 5)
4. 2023 年度 理事会・企画運営委員会の活動について (資料 6)
5. 私立大学等改革総合支援事業 タイプ 3 について (資料 7)
6. 令和 6 年能登半島地震被害に対する義援金について (資料 8)
7. 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて (資料 9)

以上

<資料一覧>

- 資料 1-1 : 2023 年度 活動報告について
- 資料 1-2 : 2023 年度 事業報告・決算（案）< 6 事業委員会と企画運営委員会一覧>
- 資料 1-3 : 2023 年度 国際交流委員会 事業報告・決算（案）
- 資料 1-4 : 2023 年度 学生交流委員会 事業報告・決算（案）
- 資料 1-5 : 2023 年度 教育連携委員会 事業報告・決算（案）
- 資料 1-6 : 2023 年度 キャリア委員会 事業報告・決算（案）
- 資料 1-7 : 2023 年度 高大連携委員会 事業報告・決算（案）
- 資料 1-8 : 2023 年度 FD・SD 委員会 事業報告・決算（案）
- 資料 1-9 : 2023 年度 企画運営委員会 事業報告・決算（案）
- 資料 1-10 : 2023 年度 決算<収支計算書>（案）
- 資料 1-11 : 2023 年度 決算<損益計算書>（案）
- 資料 1-12 : 2023 年度 決算<貸借対照表>（案）
- 資料 1-13 : 2023 年度 監事監査報告書
- 資料 2-1 : 役員の選任について
- 資料 2-2 : (参考) 定款・役員選任規程 抜粋
- 資料 3-1 : 2024 年度 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 正会員一覧
- 資料 3-2 : 2024 年度 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 賛助会員一覧
- 資料 4-1 : 2024 年度 事業委員会の委員長校・副委員長校について
- 資料 4-2 : 2024 年度 事業委員会 委員校一覧
- 資料 5-1 : 2024 年度 国際交流委員会 事業計画・予算
- 資料 5-2 : 2024 年度 学生交流委員会 事業計画・予算
- 資料 5-3 : 2024 年度 教育連携委員会 事業計画・予算
- 資料 5-4 : 2024 年度 キャリア委員会 事業計画・予算
- 資料 5-5 : 2024 年度 高大連携委員会 事業計画・予算
- 資料 5-6 : 2024 年度 FD・SD 委員会 事業計画・予算
- 資料 5-7 : 2024 年度 企画運営委員会 事業計画・予算
- 資料 5-8 : 2024 年度 予算
- 資料 6-1 : 2023 年度 理事会 議題一覧
- 資料 6-2 : 2023 年度 企画運営委員会 議題一覧
- 資料 7 : 私立大学等改革総合支援事業タイプ 3 について
- 資料 8-1 : 令和 6 年能登半島地震被害に対する義援金のご報告
- 資料 8-2 : ひょうご神戸から繋ごう！「令和 6 年能登半島地震 兵庫県義援金」ポスター
- 資料 9-1 : (2025 年開催) 第 22 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて
- 資料 9-2 : (参考) 第 20 回(2023 年度)全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
令和 6 年能登半島地震被害に対する義援金のご報告

2024 年1月発生の能登半島地震に際し、大学コンソーシアムひょうご神戸(大学コンソ)は、阪神・淡路大震災の経験を持つ“ひょうご神戸”に拠点を置く組織として、被災者支援のための義援金を募りました。加盟校の皆さまからのご協力に御礼申し上げます。

1. 「令和6年能登半島地震義援金」について

- 対象 : 加盟校の教職員、学生、保護者、一般の皆さま
- 募集期間 : 2024 年2月1日(木)～2024 年 4 月 30 日(火)
- 寄贈先 : 「令和 6 年 能登半島地震兵庫県義援金募集委員会」

◆加盟校の皆さまからの義援金について

- 義援金総額:225,227 円 (※4 大学よりご報告頂きました。)

◆コンソ事務局設置募金箱について

- 義援金総額:14,122 円
- 送金日時 : 2024 年 5 月 1 日(水)

合計 239,349 円

2. 今後に向けて

阪神・淡路大震災から来年で 30 年を迎えます。この間、2004 年の新潟県中越地震、スマトラ島沖地震、2008 年の四川大地震、2010 年のハイチ地震、2011 年の東日本大震災、2015 年のネパール地震、2016 年の熊本地震、2018 年の大阪北部地震、北海道胆振東部地震、2023 年のトルコ・シリア地震など国内外で多くの地震が起きています。2024 年元日に発生した能登半島地震を見るように、災害は時と場所を選びません。

大学コンソでは、多文化共生社会を見据え、外国人留学生や在留外国人への防災教育に力を入れています。また、加盟校の学生と防災・減災啓発動画(兵庫県からの受託事業「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策 PR 動画」)も作成し、南海トラフ地震に備えています。今後も“ひょうご神戸”に拠点を置く大学コンソーシアムとして、阪神・淡路大震災の経験を未来へつなげてまいります。



※2024 年 1 月 20 日(土)開催の合同模擬グループディスカッション・面接大作戦にて
応援メッセージを参加学生より頂きました。

お辛いですが、でも、きっと雲の向こうには青空が広がっていることと信じています。（神戸女学院大学）

1日でも早く笑顔を取り戻せる日が来ることを心から願っています。（神戸学院大学）

辛く不安な日々が続いていると思いますが、お身体を大切にしてください。（神戸市看護大学）

一刻も早く日常に戻れるよう心からお祈りします。（兵庫県立大学）

どうか、1日でも早く被災された方々の楽しい生活や明るい表情が戻ってきますように。（関西国際大学）

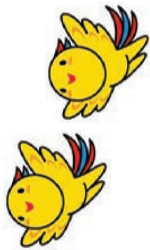
天灾无情人有情，共克时艰（天災は無慈悲なものだが人には情がある。一緒に乗り越えましょう。（関西学院大学）

被災された皆様のメンタルが本心に心配です。皆様の健康を祈っています。（関西国際大学）

笑顔 ^ ^
（神戸学院大学）

↓ 想いよ、届け！ 加盟校学生たちからのコメントです。

ひようご神戸から繋ごう！ 「令和6年能登半島地震



兵庫県義援金」 Donation for Noto Earthquake in 2024



募集期間：令和6年2月1日から令和6年4月30日まで

阪神・淡路大震災を経験した“ひようご神戸”に
拠点を置く大学コンソーシアムひようご神戸
（兵庫県下加盟校・38校）だからこそできること。

能登半島被災地域での救援・復興支援等に

お役立ただける

「令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会」を
ご案内致します。

大学コンソーシアムひようご神戸

The Consortium Universities in Hyogo

TEL：078-271-0233



【銀行振込】

みなと銀行	本店営業部	普通2019118
三井住友銀行	兵庫県庁出張所	普通3294602
但馬銀行	神戸支店	普通9885280
名義：令和6年能登半島地震 兵庫県義援金募集委員会		



詳細は、右記QRコードよりご確認ください。

少しでも早く日常に戻れるよう心から
祈っています（兵庫県立大学）

皆さんが安心して生活できる場が1日でも
早く戻ってくるよう、応援しています！
（流通科学大学）

大変な時だからこそ皆さんの中にあたたかく明るい
気持ちが広がりますように。（神戸市外国語大学）

寒さもあり、厳しい日々が続いていると思い
ます。皆さんの笑顔に会いに行ける日を
楽しみにしています。（甲南大学）

阪神・淡路大震災を経験した“ひょうご神戸”に拠点を置く 大学コンソーシアムひょうご神戸だからこそできること

阪神・淡路大震災では、国内外より多くのご支援を頂き、互いに助け合い、繋がることの大切さを学びました。当コンソーシアムでは、その経験と学びを「つたえる・つながらる・つづける」べく活動を行っています。

●ボランティア活動

2011年の東日本大震災発災時から、11年間継続して学生災害ボランティア・ネットワーク事業を実施。“今だから、学生だから”できることを、神戸市社会福祉協議会、日本財団学生ボランティアセンターと共催し、主体的に考え活動。



●大学連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成

近年頻発する自然災害を踏まえて、阪神・淡路大震災後に生まれた世代である加盟校の学生メンバーが、「自然災害から命を守るう」というテーマで動画を作成。「学生ニュースの時間」と題して、阪神・淡路大震災の現状に学び、防災に対して難しい印象を持つ人でも、すぐに行動ができるよう「避難」と「備蓄」についてわかりやすく伝えます。2月末公開予定。



大学コンソーシアムひょうご神戸

The Consortium Universities in Hyogo

30大学・7短期大学(部)・1高等専門学校

明石工業高等専門学校	神戸国際大学	園田学園女子大学短期大学部
芦屋大学	神戸市外国語大学	宝塚医療大学
大手前大学・大手前短期大学	神戸市看護大学	姫路大学
関西国際大学	神戸松蔭女子学院大学	姫路獨協大学
関西福祉大学	神戸女学院大学	兵庫大学・
関西学院大学・聖和短期大学	神戸女子大学・	兵庫大学短期大学部
甲南大学	神戸女子短期大学	兵庫教育大学
甲南女子大学	神戸親和大学	兵庫県立大学
神戸大学	神戸常盤大学・	芸術文化観光専門職大学
神戸医療未来大学	神戸常盤大学短期大学部	流通科学大学
神戸海星女子学院大学	神戸薬科大学	
神戸学院大学	姫路短期大学	
神戸芸術工科大学	園田学園女子大学・	

Access /



神戸30大学の大学による、
コンソーシアム
(設立趣旨)



一般社団法人 大学コンソーシアム ひょうご 神戸

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区臨海町1丁目2-8 兵庫国際交流館1F
TEL: 078-271-0233 FAX: 078-271-0244 HP: <http://www.consortium-hyogo.jp/>

第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて

全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムとは	全国の46のコンソーシアムが高等教育の発展に資するべく、各大学コンソーシアムの取り組みや研究成果等の情報交換を2004年から毎年持ち回りで全国各地で開催している。 運営は、全国大学コンソーシアム協議会が担っている。	
第22回（2025年度）の概要	開催日	2025/8/30（土）、8/31（日）
	開催地	神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス
	共催	全国大学コンソーシアム協議会 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
	後援	中央省庁（文科省等）、地元自治体（兵庫県、神戸市等） 全国紙・地元紙等（予定）
	参加人数	200名から500名規模（予定）
	兵庫県で開催する（当コンソが共催する理由） ・人口減少を踏まえ、全国のコンソにおいても留学生支援事業に対する関心は高まっている。大学コンソーシアムひょうご神戸は、留学生支援について実績があり、他地区のコンソの参考になる事例が多い。 ・2025/8は大阪・関西万博の開催期間中であり、関西地区に全国から多くの参加者が見込める。 ・大学コンソーシアムひょうご神戸は2006/6に発足しているので、2025/9は創設20周年にあたる。	
【開催地コンソの役割】	「基調講演」「シンポジウム」「情報交換会」の企画	
	会場手配	
	登壇者（基調講演者・シンポジスト・コーディネーター）の選任および連絡調整	
	予稿集の作成	
	広報および参加者募集	
	後援名義依頼	
	マニュアル及びスタッフタイムスケジュールの作成	
	2024年・2025年の 全国大学コンソーシアム協議会運営委員会の副委員長への就任・委員会出席	
第21回（2024年度）の概要	開催日：2024年9月7日（土）、9月8日（日） 開催地：京都市立芸術大学・キャンパスプラザ京都 共催：全国大学コンソーシアム協議会、大学コンソーシアム京都 テーマ：地域特性を活かした大学間連携・地域連携の発展☑	
第20回（2023年度）の概要	開催日：2023年9月2日（土）、9月3日（日） 開催地：常葉大学静岡草薙キャンパス 共催：全国大学コンソーシアム協議会、 公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム テーマ：大学コンソーシアムが紡ぐ持続可能な地域社会づくり ～アフターコロナ次代を見据えた新たな価値の創造を目指して～	

(2025 年開催)第 22 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて

【実施概要】

1. 開催日:2025 年 8 月 30 日(土)、8 月 31 日(日)
2. 開催地:神戸学院大学 ポートアイランド第 1 キャンパス
3. 共 催:全国大学コンソーシアム協議会、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
後 援:中央省庁(文科省等)、地元自治体(兵庫県、神戸市等)、全国紙・地元紙等(予定)
4. 参加人数:200 名から 500 名規模(予定)

【経緯】

2023 年 11 月末に全国コンソーシアム協議会より以下の理由により、大学コンソーシアムひょうご神戸(兵庫県)での開催依頼があり、企画運営委員会ならびに理事会にて検討・審議の結果、実施が決定した。

- ・人口減少を踏まえ、留学生支援に関するテーマの検討時期にあり、大学コンソーシアムひょうご神戸は、留学生支援について実績があり、全国のコンソの取組でも参考になる事例が多い。
- ・大阪・関西万博開催期間であり、関西地区に全国から多くの参加者が見込める。
(大阪コンソは過去実施実績があり、万博開催期間でもあるためホテルが確保しにくいという懸念がある)
- ・大学コンソーシアムひょうご神戸は 2006 年 6 月 12 日に発足し、2025 年 9 月は 20 年目を迎える年にあたる。

【2023 年度～2024 年開催の全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて】

●(2023 年開催)第 20 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

1. 開催日:2023 年 9 月 2 日(土)、9 月 3 日(日)
2. 開催地:常葉大学静岡草薙キャンパス
3. 共催:全国大学コンソーシアム協議会、公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
4. 参加人数:234 名
5. テーマ:大学コンソーシアムが紡ぐ持続可能な地域社会づくり
～アフターコロナ次代を見据えた新たな価値の創造を目指して～ ※プログラム詳細は資料 9-2 の通り

●(2024 年開催)第 21 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

1. 開催日:2024 年 9 月 7 日(土)、9 月 8 日(日)
2. 開催地:京都市立芸術大学・キャンパスプラザ京都
3. 共催:全国大学コンソーシアム協議会、大学コンソーシアム京都
4. テーマ:地域特性を活かした大学間連携・地域連携の発展

【参考】

●全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

高等教育の発展に資するべく、各大学コンソーシアムの取り組みや研究成果等の情報交換を 2004 年から毎年開催。運営は、全国大学コンソーシアム協議会が実施。

●全国大学コンソーシアム協議会

設立趣旨(抜粋):世界的にも高等教育を構成する重要なシステムである大学コンソーシアムは、連携でこそ実現可能な新しい学びと、知の社会還元を実現する可能性を有しています。このような流れの中で、発展段階にあるわが国の連携型の教育・研究の発展を目指し、各地で培ってきた「地域力」を「組織力」に換えることにより、相互に内容を共有できる新たな研究交流の場を提供していきたいという考えにもとづき、「全国大学コンソーシアム協議会」を設置。

加盟正会員 :全国から46のコンソーシアムが所属

【開催地コンソの役割】

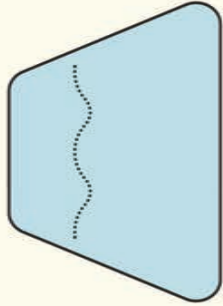
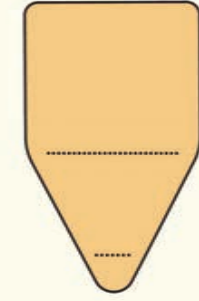
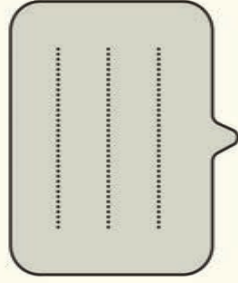
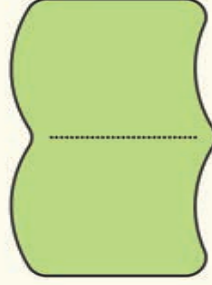
1. 「基調講演」「シンポジウム」「情報交換会」の企画
2. 会場手配
3. 登壇者(基調講演者・シンポジスト・コーディネーター)の選任および連絡調整全般
4. 予稿集の作成
5. 広報および参加者募集
6. 後援名義依頼
7. マニュアル及びスタッフタイムスケジュールの作成
8. 2024 年・2025 年の全国大学コンソーシアム協議会運営委員会副委員長への就任・委員会出席

【開催までのスケジュール】

日付		企画運営委員会				理事会
		全体	基調講演/シンポジウム	ポスターセッション	情報交換会	
2024年度	4月中旬	全国コンソ委員会副運営委員長に就任 (2024年4月1日～2026年3月31日まで)				
	5月上旬	フォーラム企画概要作成	候補選定・依頼		企画立案・準備	
	9月上旬	全国コンソ委員会報告：日時・会場等				
	1月					【第5回理事会承認】 ・運営方針・プログラム ・基調講演者、シンポジウム登壇者 ・参加費・情報交換会費
	3月上旬	全国コンソ委員会承認： テーマ・プログラム・予算等	全国コンソ委員会承認： 講演者等（内諾済）			
	3月中旬	後援名義依頼 (開催地自治体等)	詳細情報の提出依頼			
2025年度	4月中旬	リーフレット作成（4月～5月） リーフレット（案）完成	詳細情報の回収	募集要項・ブース配置図作成		
	5月					【第1回理事会承認】 ・リーフレット案 ・ポスターセッション募集要項等
	5月中旬	全国コンソ委員会承認： リーフレット（案）	全国コンソ委員会承認：テーマ・要旨 ※リーフレット記載	全国コンソ委員会承認： 募集要項		
	6月上旬	フォーラムスタッフ確定（6月中）	依頼状送付 (基調講演/シンポジウム) 予稿集・報告集原稿依頼			
	6月中旬	リーフレット原稿データ入稿				
	6月下旬	広報開始				
	7月上旬	マニュアル・スタッフタイムテーブル作成		出展団体・企業募集		
	7月					
		マニュアル・スタッフタイムテーブル案	備品準備 (登壇者) 予稿集原稿不切	募集開始（～7月31日） ※地元企業へ募集開始		
	8月上旬	マニュアル・スタッフタイムテーブル完成版 予稿集入稿	基調講演・シンポ進行シナリオ案		情報交換会進行シナリオ案	
	8月中旬	・予稿集納品 ・スタッフへの業務説明 ・配布資料（封入済）納品	登壇者等の 当日スケジュール確認	企業ブース配布資料到着 (開催地)		
	8月29日	前日準備（設営等）				
	8月 30・31日	フォーラム運営				

全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム

第20回



大学コンソーシアムが紡ぐ持続可能な地域社会づくり

～アフターコロナ時代を見据えた新たな価値の創造を目指して～

開催日時 2023(令和5年)9月2日(土) 13:30～19:30

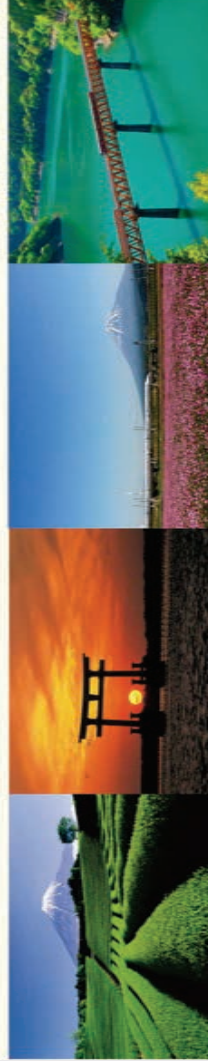
3日(日) 10:00～12:00

開催場所 常葉大学静岡草薙キャンパス(静岡市駿河区弥生町6-1)

【共催】全国大学コンソーシアム協議会・公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム

【後援】文部科学省、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人日本私立大学連盟、日本私立大学協会、
全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会、全国知事会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、一般社団法人共同通信社、
静岡県、静岡市、静岡市議会、静岡新聞社、静岡放送、中日新聞東海本社

写真提供：静岡県観光協会、富士市



テーマ

大学コンソーシアムが紡ぐ 持続可能な地域社会づくり

～アフターコロナ時代を見据えた新たな価値の創造を目指して～

大会趣旨

現在、大学をはじめとしたそれぞれの高等教育機関は、

研究や若者の教育・人材の輩出に留まらず

イノベーションを創出する「知の拠点」や地域文化の担い手など様々な役割を果たしています。

一方、少子高齢社会、地球環境問題、新型コロナウイルス感染症、

デジタル社会へのシフトなど、山積する課題に対応し、持続可能な社会をつくるには、

高等教育機関単体のみならず、高等教育機関相互や行政・産業界など様々な主体と連携し、

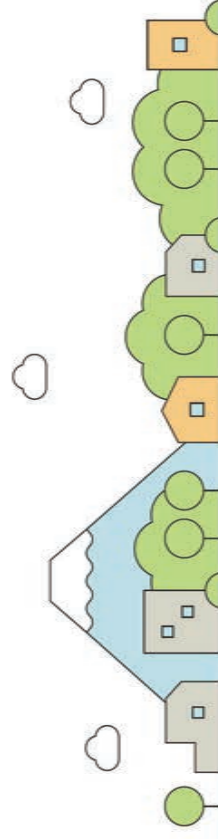
地域を巻き込んだ交流があって、初めて実現できるものと考えられます。

そこで今回のフォーラムは、今後の持続可能な地域社会づくりのため

大学コンソーシアムが関与してきた様々な連携の形を考察するとともに、

アフターコロナ時代を見据え、新たな価値の創造を目指した

今後の大学コンソーシアムの姿を展望することを目的として開催します。



スケジュール

第1日目 9月2日(土)

10:30	受付 ●A棟2階出入口	開場 12:00	ポスターセッション 大学紹介コーナー ●1階ナレッジスクエア	総会 ●2階 第5会議室
12:00				
12:30	開場			
13:15				
13:30	開会・挨拶 ●2階A201(B201※) 黒坂光氏 全国大学コンソーシアム協議会代表幹事 日詰一幸氏 静岡大学学長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム理事長) 出野勉氏 静岡県副知事			
13:50	基調講演(第20回記念講演) ●2階A201(B201※) テーマ:日本の大地・静岡の大地～大規模自然災害と高等教育機関の危機管理～ 尾池和夫氏 静岡県立大学学長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム副理事長)			
14:50	休憩			
15:00	シンポジウム ●2階A201(B201※) テーマ:持続可能な地域社会づくりに向けた大学コンソーシアムへの期待 コーディネーター:日詰一幸氏 静岡大学学長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム理事長) シンポジスト:出野勉氏 静岡県副知事 酒井公夫氏 静岡県鉄道株式会社代表取締役会長 池上重弘氏 静岡県教育委員会教育長(ふじのくに地域・大学コンソーシアム理事)			
16:30				
17:15	文教行政報告 ●2階A201(B201※) テーマ:高等教育政策の動向について 山田研市氏 文部科学省高等教育局大学教育・入試課課長補佐			
17:45	閉会 黒坂光氏 全国大学コンソーシアム協議会代表幹事			
18:00	情報交換会 ●会場:1階グラン・テンプル			

第2日目 9月3日(日)

9:30	受付
10:00	分科会 第1分科会●2階A210 ・公益財団法人大学コンソーシアム京都 第2分科会●3階A308 ・公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩 第3分科会●3階A309 ・公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム 第4分科会●3階A310 ・特定非営利活動法人大学コンソーシアム大坂
12:00	

※基調講演などの会場について
開会・挨拶、基調講演、シンポジウム、文教行政報告の会場は2階A201教室ですが、
開演の時は2階B201教室で映像配信にてご覧いただけます。

第1日目

2023(令和5)年 9月2日(土)

基調講演 (13:50～14:50)

日本の大地・静岡の大地～大規模自然災害と高等教育機関の危機管理～

本年は1923年9月1日に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。近い将来必ず起こると言われている「南海トラフ巨大地震」を始めとする大規模自然災害等に対しては、静岡県内だけではなく、全国の各高等教育機関においても、危機管理や防災対策が必要となります。講演では、主に地球科学や地震学の観点から、発生し得る自然災害等のリスクと、今後行っていくべき対策について考察します。さらに、人為的な災害も含めた危機管理全般に対する、高等教育機関のガバナンスのあり方等についても、参加者の皆さんとともに考えてみたいと思います。

講演者 尾池和夫氏 静岡県立大学学長

略歴:静岡県公立大学法人代表人理事長・静岡県立大学学長。1940年東京で生まれ、高校で育った。1963年以來、京都大学・理学部長、副学長などを兼任し、2003年から京都大学第24代総長を務め、京都芸術大学学長を経て、2021年4月1日より現職。日本地震列島(朝日文庫)、四季の地球科学(岩波新書)、季語の科学(淡交社)など著書多数。

シンポジウム (15:00～16:30)

持続可能な地域社会づくりに向けた大学コンソーシアムへの期待

本シンポジウムでは、ふじのくに地域・大学コンソーシアムの取組事例を踏まえつつ、大学コンソーシアムが紡ぐ持続可能な地域社会づくりについて、本県の産学官それぞれの視点から意見を述べ、討論を行います。

コーディネーター 日詰一幸氏 静岡大学学長

略歴:1955年生。長野県出身。名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学。名古屋音楽大学専任講師を経て、1996年静岡大学文学部助教授。2000年より静岡大学文学部教授(2012年学名を称変更により静岡大学人文社会科学部教授)。2021年4月より静岡大学学長に就任。専門は、行政学、地方自治論、NPO論など。

シンポジスト1 出野勉氏 静岡県副知事

略歴:昭和50年3月 新潟大学文学部卒業、昭和50年4月 静岡県採用。平成16年4月 企画部知事公室長、平成19年4月 厚生部理事(ファルマバレー担当)、平成20年4月 観光局長、平成22年4月 文化・観光部長、平成24年4月 知事戦略監事企画広報部長、平成25年3月 静岡県退職。平成25年5月 富士山静岡空港株式会社代表取締役社長、令和2年4月 静岡県副知事(現職)

シンポジスト2 酒井公夫氏 静岡県鉄道株式会社代表取締役会長

略歴:1978年 慶應義塾大学商学部卒業、静岡県鉄道株式会社 入社、1997年 同社 取締役自動車営業部長、1999年 同社 常務取締役、2003年 同社 代表取締役専務、2005年 同社 代表取締役社長、2015年 同社 代表取締役会長(現任)、公職として 2016年静岡県商工会議所会頭に就任。現在は名誉会頭として、地域の活性化に取り組み、いるほか、静岡県自動車会議所会長などを歴任し、静岡県内における自動車業界の発展に貢献している。

シンポジスト3 池上重弘氏 静岡県教育委員会教育長

略歴:平成20年4月 静岡文化芸術大学教授、平成27年5月 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会副委員長、平成28年4月 静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター長、平成29年1月 静岡文化芸術大学副学長、令和2年4月 静岡文化芸術大学英語・中国語教育センター長、令和2年4月 才徳兼備の人づくり小委員会委員長、令和4年4月 静岡県教育委員会教育長(現職)

第2日目

2023(令和5)年 9月3日(日)

10:00～12:00

第1分科会

公益財団法人大学コンソーシアム京都
「障害学生支援と大学間連携」

報告者

生川 友恒氏 静岡大学学生支援センター
障害学生支援部門・准教授
濱田 里羽氏 金沢大学国際基幹教育院・助教/
障がい学生支援室・専任教員

コーディネーター・報告者

村田 淳氏 京都大学 学生総合支援機構・准教授/
DRC(障害学生支援部門)・
チーフコーディネーター

障害のある学生に対する修学支援(合理的配慮等)は、各大学等で取り組むべき課題となっています。一方で、大学等の規模や取り組みの変遷などによって、情報やノウハウ等の蓄積には濃淡があるため、大学間連携を通じて相互に補完していく取組を進めることには、大きな意義があるといえます。本分科会では、いくつかの地域における大学間連携の事例などを共有し、大学間連携を通じて障害学生支援を促進させるための取組等について検討したいと考えています。

第2分科会

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

「『地方創生』に産官学連携はどのような役割が期待できるか」

報告者

清原 慶子氏 前三鷹市長
矢部 俊男氏 森ビル株式会社 都市開発本部 参与
計画企画部メディア企画部 参与
土山 希美枝氏 法政大学法学部政治学科教授

コーディネーター

細野 博博氏 中央大学名誉教授、学術・文化・
産業ネットワーク多摩 専務理事

地方創生は一言でいえば、現場を知らない霞ヶ間派まちづくり。案の定、補助金ばらまきで効果はありませんでした。国をあてせず、自前の地方創生策をいち早く実行した自治体が増えつつあります。そのような自治体では、産官学連携がどう機能しているのか、またすべきなのかを議論します。

第3分科会

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム

「大学と多様な主体との連携による災害への取組を考える」

報告者

野本 幹浩氏 香川大学四国危機管理教育・研究・
地域連携推進機構
中村 隆行氏 東日本国際大学 副学長
金嶋 千明氏 静岡県危機管理課参事(市町支庁担当)
兼静岡県地震防災センター所長

コーディネーター

楠城 一嘉氏 静岡県立大学 特任教授

昨今、地震・台風等の影響による自然災害が増加し、とりわけ南海トラフ地震とそれに伴う津波の発生が危惧されています。発災前の備え、発災後の「学びの継続」や「教育の質」の確保、復興に向けた取組などには、大学単独のみならず、他大学や行政、産業界、地域社会など多様な主体との情報共有や相互支援が必要となることから、本分科会ではこれらの事例を参照しつつ、大学コンソーシアムが持つ今後の大学の防災対策について考察します。

第4分科会

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪

「ウィズ/アフターコロナ時代の学生ボランティア活動」

報告者(学生)

井上 涼平氏 神高 涼氏 学生ボランティアチーム ACT
(大学コンソーシアム大阪)
石谷林太氏、和田雄平氏、八王子学生委員会
中島孝孝子氏 (大学コンソーシアム八王子)
細田 大和氏、西村彩穂氏 京都学生広報部
(大学コンソーシアム京都)

コーディネーター

松居 勇氏 大阪公立大学 ボランティア・市民活動センター
(V-station)ボランティアコーディネーター

全国各地の大学コンソーシアムでは、地域やそのコンソーシアムの特色を生かしながら、学生の成長と学びの機会創出、また活動成果の還元のために様々なボランティア活動が進められています。コロナ禍で大きな行動変容を求められた学生が、この3年を経て、大学の枠を超えた新たな繋がりの中でのボランティア活動に何を求めるのか、また活動の在り方について、学生や活動を支援する大学コンソーシアム関係者間で意見交換をしながら、ウィズ/アフターコロナ時代のより良い活動のヒントを探りたいと思います。

申込のご案内

申込

1. 申込URLから「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを登録する。
2. 登録したメールアドレスに「参加申込フォーム」のURLが届く。
3. メールに記載されているURLにアクセスし、申込み手続きをする。

4. 申込完了後、「申込み完了メール」が届く。

※申込み完了メールが届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。

※申込み完了後の変更は、一切受け付けられません。

※基調講演者、シンポジスト、コーディネーター、分科会報告者の方は申込み不要です。

参加費の支払

1. 申込み手続き完了後、郵送で払込票が届く。
2. 最寄りのコンビニエンスストアで参加費を支払う。

※取り扱い可能な払込票の裏面に記載されています。
なお、銀行・ゆうちょ銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。

参加費支払期限

2023(令和5)年8月10日(木)24:00 まで

※申込み手続き・参加費支払いが完了していない方は参加できませんのでご注意ください。

※お支払いいただく参加費につきましては、印刷費、WEBシステム運営費、通信費など、諸準備に使用いたしますので、いかなる理由があっても返金等には応じられません。ご了承ください。

※報告書の代金をお支払いいただいた場合は、欠席された方にも後日返付いたします。

参加証の受領

参加費の支払いが完了したら、参加証がメールで届く。

※8月18日(金)になっても参加証(メール)が届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。

当日

参加証(メールまたはプリントアウト)を持参し、受付にて提示する。

※代理の方が参加される場合は、参加証(メール)を持参して、当日の受付にてお申し出ください。

申込期間

2023(令和5)年6月21日(水)10:00

～7月28日(金)

申込区分	参加費	情報交換会費	報告集	合計
参加のみ	一般	4,000円	—	4,000円
	学生	0円	—	0円
参加 + 情報交換会	一般	4,000円	4,000円	8,000円
	学生	0円	2,000円	2,000円
参加 報告集	一般	4,000円	—	1,000円
	学生	0円	—	1,000円
参加 + 情報交換会 + 報告集	一般	4,000円	4,000円	1,000円
	学生	0円	2,000円	1,000円

申込URL(アドレス)

<https://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/office>

もしくは

「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」で検索

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織について

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織に属している場合、申込みの際に所属組織をご入力ください。ご所属の機関が全国大学コンソーシアム協議会の加盟組織かどうかについては、以下のページをご参照ください。

お問い合わせ先

全国大学コンソーシアム協議会事務局

(大学コンソーシアム京都内)

<受付時間> 火曜～土曜 9:00～17:00

TEL: 075-353-9100

E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

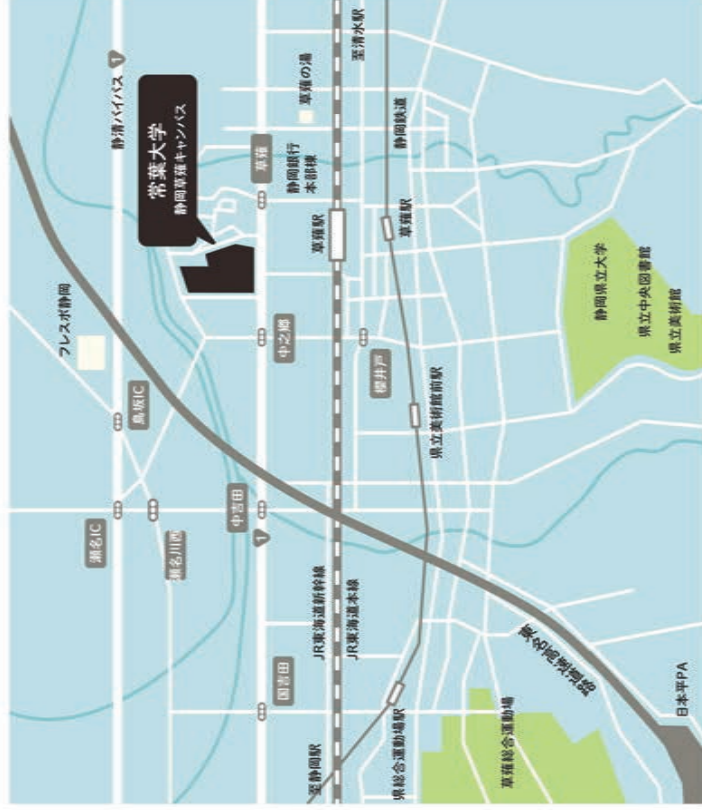
URL: <https://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/office>

9/2(土)の昼食の申込みについて

昼食(弁当)購入の申込みは、フォーラムの参加申込みとあわせて、「参加申込フォーム」から行ってください。なお、申込みされない場合には、昼食(弁当)のご購入はできませんので、ご注意ください。

※詳細は4ページ目をご覧ください。

会場へのアクセス



静岡駅からのアクセス

・JR 東海道線(新静岡駅)で草薙駅下車、北口から徒歩4分

静岡空港からのアクセス

・バス「静岡空港線(新静岡駅)」行で、JR 静岡駅下車後、JR 東海道線(新静岡駅)で草薙駅下車、北口から徒歩4分
◎このほか、常葉大学の交通アクセスのページ (<https://www.tokohau.ac.jp/university/campus/kusanagi/>) もご覧ください。

お問い合わせ先

申込み・プログラムに関するお問い合わせ

全国大学コンソーシアム協議会事務局(大学コンソーシアム京都内)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通堀小路下るキャンパスプラザ京都内

<受付時間> 火曜～土曜 9:00～17:00

TEL: 075-353-9100 FAX: 075-353-9101

E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

会場・施設に関するお問い合わせ

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム事務局

〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠 3-6-1 もくせい会館 2F

<受付時間> 月曜～金曜 9:00～17:00

TEL: 054-249-1818 FAX: 054-249-1820

E-mail: mail@fujinokuni-consortium.or.jp

本フォーラムは、「東アジア文化都市 2023 静岡県認証プログラム」の認定を受けています



東アジア文化都市 2023 静岡県
Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

大学コンソーシアムひょうご神戸×日本財団ボランティアセンター

地域の子育て支援拠点・ 子どもの居場所で活動しよう！ ◇参加学生募集◇

学生交流委員会「WILL BEプロジェクト」

～子育て親子の交流の場の提供と促進・子どもの居場所づくり～
子どもとの関わりを通して自分を成長させ、地域に貢献できます！
活動を通して他大学の学生とつながれるチャンス！

活動場所

(神戸市内「地域子育て支援拠点」)

【最寄り駅】

- ◇神戸市長田区：ときわんクニヅカ
- ◇神戸市中央区：ときわんモトロク
- ◇神戸市兵庫区：ときわんノエスタ

JR「新長田」

阪神「西元町」・阪急「花隈」

地下鉄「御崎公園」「和田岬」

※開園時間10:00～16:00(お昼休み有)

- ◇明石市：あかしフリースペース☆トロッコ

※開園時間9:00～17:00

JR「明石」・山陽電車「人丸前」

募集期間・活動日時

◎ **随時募集中！** 応募学生と個別で日程等の調整をします。

※参加は1回からOK！ 週1回～複数回の参加など希望を考慮します。

※実施期間は2025年3月まで受付をしています

対象

◎ **大学コンソーシアムひょうご神戸
加盟校の学生** (学部・学科不問)

●参加希望者は、こちらの申し込みフォームからお申し込みください▷

問い合わせ：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

MAIL：info@consortium-hyogo.jp

電話：078-271-0233 (9:00～17:00)

主催：大学コンソーシアムひょうご神戸
共催：日本財団ボランティアセンター



※ダウンロードしてご使用ください。

件名	地域の子育て支援・子どもの居場所での学生ボランティア事業
主催	一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
共催	日本財団ボランティアセンター その他（あれば）：B&G 財団（協力）
実施日時	2024 年 6 月～2025 年 3 月 31 日
実施場所	【活動先】 1、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校が設置する地域の拠点「神戸常盤大学子育て支援センター」での活動。大学が地域の商店街やスポーツスタジアム内等に設置する以下①～③の「地域子育て支援拠点／神戸常盤大学子育て支援センター」 2、「B&G 財団」が全国的に自治体と連携して支援展開する「子ども第 3 の居場所」の拠点施設④での学生ボランティア活動。兵庫県には、明石市が不登校児支援の施策として設置している居場所などがある。 ＜活動拠点施設の名称＞ ①ときわんモトロク（兵庫県神戸市中央区元町通 6-3-19 元町レジデンス 1 階・元町 6 丁目商店街） ②ときわんノエスタ・てらこやノエスタ（兵庫県神戸市兵庫区御崎町 1 丁目 2-2・ノエビスタスタジアム神戸）、 ③ときわんクニヅカ・てらこや（兵庫県神戸市長田区久保町 6 丁目 1-1・アスタくにつか 4 番館） ④あかしフリースペース トロッコ（兵庫県明石市天文町 1-4-12） ⑤上記のほか、加盟校で拠点を開放できる大学や、自治体の子ども第三の居場所があれば、随時活動場所の追加・検討を行う。
趣旨・目的	1. 大学が連携して学生ボランティア活動の体制をつくる 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校が連携して、兵庫県内の「子育て支援拠点」や「子どもの居場所」を対象に、学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、ボランティア活動による学びの成果を発表できる場を提供する。 2. はじめの一步から、活動をステップアップできる機会の提供 ボランティア未経験者から経験者まで、参加学生の経験値や力量、関心に応じて、活動内容のステップアップや視野を広げることができる機会の提供を地域の拠点と連携して取り組む。 3. 学生交流を通じて、社会課題に気づく機会を提供 学生の所属する学校を問わず、地域の拠点を開放し、学生間の交流を促進する。また、地域社会に根差した活動を通じて、子どもをめぐる社会課題についても視野を広げ、専門分野や所属大学の枠を超えた学生の交流も促す。

※ダウンロードしてご使用ください。

	4. 学生の成長の場づくり・ボランティア活動への関心を促す 主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作る。 継続的な活動で学生が成長できる場も育む。また、大学関係者や 地域社会に対して、活動成果を発信することで、参加者の学びや 体験を整理するとともに、大学生のボランティア活動に対する関 心や参加意欲を高める。	
参加対象者	大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 36 校に所属する大学生	
人数	20 人程度	
事業の全体予算	300,000 円	
上記のうち、日本財団ボラセンが 負担する費用	300,000 円	
日本財団ボラセンが 負担する費用の内訳	地域の子育て支援センター・子ども第 3 の居場 所での活動学生交通費 $2,000 \times 4 \text{ 回} \times 20 \text{ 人}$	160,000 円
	プログラム消耗品費	30,000 円
	事務連絡費	20,000 円
	学生ボランティアふりかえりワークショップ 講師謝礼 $20,000 \text{ 円} \times 2 \text{ 人}$	40,000 円
	ふりかえりワークショップ学生交通費 $2,000 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} \times 20 \text{ 人}$	40,000 円
	ふりかえりワークショップ交流会（茶菓子）	10,000 円

 **Nagase Chemtex** presents
ナガセケムテックス株式会社

ヴィクトリーナ姫路 (女子プロバレーボールクラブ)

大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネス コンテスト



コンテスト参加(企画立案・実践)、運営参加(事務局) 学生募集！

スポーツで兵庫を盛り上げよう！スポーツビジネスコンテストに参加しよう！



コンテスト参加

内容

ヴィクトリーナ姫路の事業課題の解決や、ヴィクトリーナ姫路を活用した社会課題の解決に繋がる企画を立案し、実践まで行います。

対象

大学生（大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校）

参加方法

いずれかをお選びください

①個人応募：個人で参加。集まった他大学の学生と一緒にチームを組みます。

②ゼミ応募：所属大学のゼミ単位で参加。先生と相談の上、ご応募ください。

募集数

①個人応募:20名程度 ②ゼミ応募:5ゼミ程度

運営参加



内容

スポーツビジネスコンテストの事務局スタッフとして、運営に携わります。

対象

大学生（大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校）

募集数

10名

募集期間・ 2024年7月31日(水) 締め切り

活動期間・ 2024年9月23日(月・祝)～2025年1月18日(土)

※活動期間中、毎日活動する必要はありません。チームごとに、適宜ミーティングを行って企画立案や準備を進め、実践を行います

お問い合わせ

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
Mail : info@consortium-hyogo.jp
Tel : 078-271-0233(9:00～17:00)

参加希望者はこちらの
フォームからお申し込みを！



SPORTS BUSINESS CONTEST



ヴィクトリーナ姫路とは？

2024年より、大同生命SVリーグに所属する女子プロバレーボールクラブ。ホームタウンは、兵庫県姫路市。ヴィクトリーナ・ウイנק体育館等でホームゲームを開催しています。

「スポーツビジネスコンテスト」の流れ

- 大学の講義などで学んだことを実践できる！
- 仲間と切磋琢磨できるチャンス！
- スポーツを通じて地域貢献を学べる！

本コンテストでは、大学ゼミ単位でのプロジェクトチーム、あるいは個人参加者5～8名程度で大学混成のプロジェクトチームを組んで参加します。
オリエンテーションにて、ヴィクトリーナ姫路が事業課題・社会課題テーマを発表し、各学生チームはその課題を解決する企画を検討します(企画実践経費として、1チームあたり10万円を支給)。
企画検討後、ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲーム等で実践し、その効果を検証します。実践終了後、実践報告会で実践結果を発表して頂きます。審査員は、審査基準である新規性、効果性、継続性、成長性、プレゼンテーションの5項目を審査し、審査結果を踏まえて最優秀賞ほか各賞を決定します。

スケジュール | ※日程・開催場所は変更する可能性があります

2024年 9月23日(月祝)	オリエンテーション・課題発表 @兵庫県内
9月24日(火)～ 11月9日(土)	企画立案準備、ホームゲーム視察
11月10日(日)	企画プレゼン会 @兵庫県内
11月11日(月)～ 11月15日(金)	実践課題フィードバック期間
11月16日(土)～ 12月下旬	実践準備・実践期間(ホームゲーム会場ほか)
2025年 1月18日(土)	実践報告会・表彰式 @兵庫県内



参加者コメント

学ぶことがばかりで全てを通して本当にいい経験ができた。
(兵庫県立大1年 女性)

今まで自分が経験したことのない、企画の発案から実践までさせてもらい、人より違う強みを持てた気がして、とてもやりがいになった。
(神戸親和大学3年 女性)

企画する上での経費の使い道や需要と供給のバランス、またチームの役割分担、相手を思いやる心など、学ぶところが多かった。
(神戸親和大学3年 女性)

ここまで全力で取り組める環境を作っていただいたことを本当に感謝。
(神戸学院大学4年 男性)

プレゼン、パワポ、企画マネジメントと企業で重要なことをこの年齢で体験できたのはとても良かった。
(流通科学大学3年 男性)

スポーツチームの方と直接関わって話し合いなどすることは滅多にないので、とてもいい経験になった。
(流通科学大学3年 女性)

将来こんなことをしたと自信を持つことができたと思った。
(関西福祉大学1年 男性)



「大学コンソーシアムひょうご神戸」は、兵庫県内の36校からなる大学連携組織です。さまざまな学生が大学の枠を超えた、学生間の交流や活動に取り組んでいます。「スポーツビジネスコンテスト」は、地域の活性化に向けての人材育成プログラムとして、地域スポーツの振興をテーマに実施しています。参加学生は大学の講義などで学んだことを実践したり、マーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得できるきっかけに！いろいろな仲間と切磋琢磨できるチャンス！ぜひご応募ください。

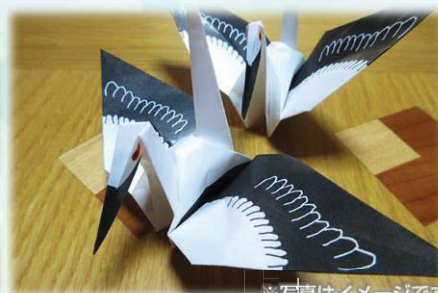
兵庫津ミュージアム2024年夏季展示・特別企画

未来へつなごう！万博展

“兵庫の魅力” Student Treasure Hunt Project

ひょうごフィールドパビリオン体験ワークショップ

学生運営ボランティアスタッフ募集！



※写真はイメージです

メンバー募集要項

●内 容

兵庫津ミュージアム2024年度夏季展示・特別企画「未来へつなごう！万博展」内の、ひょうごフィールドパビリオン紹介コーナーの発展企画として実施する、ワークショップの運営を行います。

※ミュージアムの来館者や子ども向けのワークショップを企画・運営します

●募 集

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生 **10名程度** を募集します。

申込は下記のQRコードを読み取る or 大学コンソーシアムひょうご神戸HPよりお申込みください。

※個人・グループでの応募、いずれも可。



ひょうごフィールドパビリオン

◆こんなひとにおすすめ◆

- ✓ みんなと協力して何かを成し遂げたい人
- ✓ 世代を問わず、ひとと関わることが好きな人
- ✓ 博物館や展示に興味がある人
- ✓ 地元“ひょうご”の魅力を伝えたい人

▼参加申込



お申込みはこちらの
WEBフォームより
お申込みください！

※申込人数に達し次第募集は終了いたします

●参加費

プロジェクト参加費無料

※兵庫津ミュージアムまでの交通費は実費自己負担あり

●活動日程

ワークショップ開催日(予定)・・・**2024/9/14(土)・9/15(日) 11:00～15:00**

オリエン・学生ミーティング・・・**2024/7/7(日)・7/14(日) 13:00～16:00**

※両日参加が望ましいですが、難しい場合は1日のみでも可。

※ワークショップ当日に向けて、上記のほか月1～2回のミーティングを開催します。

●活動場所

兵庫県立兵庫津ミュージアム（兵庫県神戸市兵庫区中之島2丁目1-17、神戸市営地下鉄「中央市場前」）



兵庫県立兵庫津ミュージアム
Hyogo Prefectural Hyogo-no-Tsu Museum



大学コンソーシアムひょうご神戸
The Consortium Universities in Hyogo



一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
Mail: info@consortium-hyogo.jp
Tel: 078-271-0233 (平日9:00～17:00)

若者による「震災の教訓を繋ぐプロジェクト」業務仕様書（案）

1 業務の目的

阪神・淡路大震災から 30 年の節目を迎えるにあたり、震災の風化を防ぎ、次世代に震災の経験と教訓を繋いでいくことを目的とした、若者が参画する動画の制作および配信を行う。

2 業務期間

契約締結日から令和 7 年 3 月 31 日

（なお、本業務は、予算成立を条件として令和 7 年 10 月 31 日まで継続して実施する予定である。）

3 委託業務の内容

震災の教訓を繋いでいくため、以下の活動を支援すること。

(1) 震災の教訓を繋ぐプロジェクトチームの立ち上げ・運営

兵庫県内の大学で学ぶ学生・大学ゼミ等から、次世代に震災の経験と教訓を繋ぐ活動を行う、「震災の教訓を繋ぐプロジェクトチーム」に参画を希望する学生を広く募集すること。なお、募集人数は 30 人～40 人程度を想定している。※県内の全大学へ積極的な参加を呼びかけること

(2) ワークショップの企画・運営

参加学生の意識を合わせるとともに、広報活動の企画・検討（配信動画の企画検討や取材調査、SNS での投稿内容の検討）をするためにワークショップ（6 回以上）を開催し、司会進行を行うなど、円滑な企画・運営に努めること。

※一部、合宿形式、能登半島地震などの被災地での取材等も実施すること

(3) 公式HP、SNS 等での情報発信

震災の経験と教訓を次世代に繋ぐため、プロジェクトチームの活動内容を発注者が運営・管理する公式HPおよびSNSで発信すること。

※情報発信にあっては、兵庫県広報広聴課と連携し、時機を得たタイミングでの広報とすること

(4) 防災・減災啓発動画の制作・配信

プロジェクトチームの学生たちが震災の教訓を繋ぐために、実践した調査内容をもとに、防災・減災啓発動画を制作・配信すること。なお、動画の専門性を担保するために、動画制作に関わるプロデューサーを配置すること。

4 その他

この仕様に定めのない事項や疑義が生じたときは、発注者と協議のうえ決定すること。月 1 回程度、活動状況を発注者へ定期的に報告すること。

事業名	費目		詳細	支出予定額
震災の教訓を繋ぐプロジェクト チームの立ち上げ・運営	人件費	人件費	職員賃金（コーディネーター）1人×15か月×220,000=3,300,000	3,300,000
			職員賃金（事務担当）1人×15か月×80,000=1,200,000	1,200,000
			社会保険料等 1人×15か月×60,000=900,000	900,000
			社会保険料等 1人×15か月×30,000=450,000	450,000
	事業活動費	謝金	講師謝金（ワークショップ） 1人×6回×33,000=198,000	198,000
		旅費交通費	旅費交通費（日常活動） 35人×15か月×4,400=2,310,000	2,310,000
			旅費宿泊費（ワークショップ） 35人×1回×6,600=231,000	231,000
		消耗品費	参考図書 10冊×2,000=20,000	20,000
			文具・PC機器等 550,100	550,100
			・ワークショップ:6回×3,000=18,000	18,000
会議費	ワークショップ合宿食費（1泊2日）：35人×4食×900=126,000	126,000		
通信運搬費	インターネット利用料 6,900×15か月=103,500	103,500		
	携帯電話利用料 6,900×15か月=103,500	103,500		
	チラシ等送付料 420×100部=42,000	42,000		
小計				9,552,100
防災・減災啓発 動画の制作および配信	事業活動費	業務委託費	映像制作・プロデュース費一式	
			動画2本×2,200,000=4,400,000	4,400,000
		通信運搬費	HP製作費一式 140,000	140,000
		印刷製本費	チラシ制作費一式 128,000	128,000
		謝金	講師謝金（ワークショップ） 3人×1回×33,000=99,000	99,000
			講師謝金（被災地調査） 1人×1回×33,000=33,000	33,000
		旅費交通費	旅費交通費（被災地調査・ボランティア） 3人×1回×23,000=69,000	69,000
			旅費宿泊費（被災地調査・ボランティア） 3人×1回×8,800=26,400	26,400
		レンタカー（講師1、学生3、コーディネーター1：4人同乗）	36,300	
	会議費	食糧代 現地3人×6食×900=16,200	16,200	
小計				4,947,900
合 計				14,500,000



災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議

内容

災害時における災害救援ボランティアが最大限の力を発揮できるよう、支援関係機関・団体が平時からの意見・情報交換、課題の検討等を行い、相互ネットワークを強化することによって、災害時においてそれぞれの持つ特性・資源・能力を活かした迅速かつ効果的な支援体制を構築するため「災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（以下「支援団体連絡会議」という。）」（委員長 室崎益輝氏）を設置しています。

令和6年度

1 石川県珠洲市への災害ボランティアバスの派遣

災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議では、構成団体メンバーを中心に、能登半島地震で被害を受けた珠洲市内での災害ボランティア活動及び今後の復興支援活動につなぐための調査・調整を行うため、災害ボランティアバスを派遣しました。令和6年4月25日（木）に被災された住民家屋での家財の片づけ、運搬等の活動を実施しました。

実施内容

行 程：令和6年4月24日（水）～26日（金）※車中泊を含む

場 所：石川県珠洲市

内 容：珠洲市災害ボランティアセンターを通じた被災地での災害ボランティア活動（家財片づけ、運搬等）、今後の復興支援に向けた調査等

参加者：兵庫県生活協同組合連合会、（一社）大学コンソーシアムひょうご神戸、川崎重工業、兵庫県 他 15名



大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における「令和6年能登半島地震」支援に関する取組 ※大学としての取組、教職員・学生の自主的活動を大学が把握している活動も含む 2024年6月13日現在			
質問事項・回答（全14校）	○ 支援の有無(貴学で何らかの支援をされていますか?)⇒ 回答：あり 10校、なし 4校 ○ 今後の予定(今後、学内で能登半島地震に対する支援を行う予定はありますか?)⇒ 回答：あり 2校、なし 5校、検討中・不明 7校		
大学名	支援の有無	活動内容	今後の予定
芦屋大学	あり	教員一人の個人的な活動での支援となりますが、今回調査しましたら報告がありましたので3件記載します。 ・「心あたまる朗読会」というサークルに参加しており、能登地震で被害を受けた小学校へ寄付を行う「チャリティ朗読会」を行いました。2月14日に石川県鹿島郡能登町鹿西小学校へメッセージと寄付を届けました。 ・1月のお茶の初釜にて出された主菓子置く銘々皿が木の切りっぱなしで塗りのない状態で配られ、それを能登の漆塗り職人さんのところへ漆塗りの発注を行いました。 ・「能登愛届け」という運動に参加し、SNSで発信拡散し、能登の商品を購入するという行動をしました。	なし
大手前短期大学	あり	被災した世帯の学生への学費減免。 【参考】 https://www.otemae.ac.jp/news/19702	不明
関西国際大学	あり	本学ではセーフティマネジメント教育推進室が支援活動に対応しております ・令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会へ募金寄贈 https://www.kuins.ac.jp/news/2024/05/6_1.html ・多数の学生が能登半島地震緊急募金活動を実施 https://www.kuins.ac.jp/news/2024/01/post_987.html ・第二回 街頭「能登半島地震被災地支援募金」活動を実施 https://www.kuins.ac.jp/news/2024/02/post_1004.html	不明
関西学院大学	あり	1.大学としての取り組み ・「卒業式・入学式での募金活動」「能登半島地震現地ボランティア」を主催しています。いずれも添付資料をご参照ください。 ・現地ボランティアについては年度内に5回程度開催を予定しており、来年度以降も継続して実施を検討中です。 2.個人的な取り組み ・現地活動に参加した学生・教職員の情報を収集しています。 【添付資料】 阪神淡路大震災アンケート	あり
神戸大学	あり	・学生の災害ボランティア活動への経費助成 2024年度より「能登半島地震における神戸大学生の災害ボランティア活動経費助成」を行っています。災害ボランティア活動を行った学生に対し4万円・（各回2万円上限）を支援しています。 「能登半島地震における神戸大学生の災害ボランティア活動経費助成について」 https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/volunteer/index/notoaiding ・神戸大学地域連携推進本部（学生の自主的な活動の把握） 学生の災害ボランティア活動は活動前・後に地域連携推進本部ボランティア支援部門で相談、面談を行ない、学生の安全対策への相談を受け、特に初めて災害ボランティア活動に参加する学生とは意見交換、助言を行っています。その上で学生の所属学部へ「災害ボランティア活動計画書」、活動後に「災害ボランティア活動報告書」を提出することになっています。 「神戸大学生による災害ボランティア活動の手引き」 https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/volunteer/index/notoguide ・神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門（教員の自主的な活動の把握） 緊急期には、防災・減災・安全の技術および方法論を研究する学内の部局・学問領域をまたいだ情報共有等のために情報を集めていました。神戸大学都市安全研究センター	検討中

神戸学院大学	あり	学生ボランティア派遣 活動は内灘町視察・七尾市災害ボランティアセンターを通じて活動 ・第1クール 2024年3月11日～12日 ・第2クール 2024年3月13日～14日 【報告書】 https://www.kobegakuin.ac.jp/earthquake/volunteer/	あり
神戸国際大学	あり	教職員や学生の自主的活動を大学が情報として把握。詳細不明	
神戸女学院大学	あり	学内各所に「募金箱」を設置し、被災者の皆さまへの支援金を募りました。集まりました支援金は、日本キリスト教団兵庫教区を通じて「2024年能登半島地震被災者生活支援募金」として全額被災地に送りました。	不明
神戸親和大学	あり	学内で学生を中心に募金をし、大阪梅田にある石川県大阪事務所に支援金としてお渡ししました。 https://www.kobe-shinwa.ac.jp/campuslife/2024/02/6.html	検討中
兵庫県立大学	あり	看護学部・研究科の学生で、個人でボランティアに参加した者がおり、その報告を受けた	なし
神戸海星女子学院大学	なし	—	なし
神戸市看護大学		—	不明
神戸松蔭女子学院大学		—	なし
神戸女子大学 神戸女子短期大学		—	なし

2. 各校において、必要な情報や他大学、各種災害ボランティア支援団体、行政等に聞いてみたいこと、共有したい課題など（自由記述）	
関西学院大学	・学生がボランティアに参加しやすいように費用補助を出すこと、その手続きが煩雑ではないことなどは重要かと思います。 ・また、宿泊先や移動手段などの課題があるため、その部分をサポートするためのボランティアバス活動や宿泊先の確保などもあわせてであると活動がしやすいかと思います。
神戸学院大学	・学生ボランティアのニーズ ・現地の移動手段、宿泊所 ・生活面（トイレ、お風呂、食事）の課題 など
神戸大学	・能登半島地震は6月現在も地震活動が続き、安全対策が非常に重要です。各大学で学生どのように注意喚起しているのでしょうか。 ・受入団体とは安全面についてどのように確認調整されているのでしょうか。 ・現地へ学生を引率されている大学の場合、どのような説明（学生本人、保護者）、注意をされているか教えていただきたいです。

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における、阪神・淡路大震災30年を迎える取組
※大学としての取組、教職員・学生の自主的活動を大学が把握している活動も含む 2024年6月13日現在

質問事項・回答（全15校）	○ 取組の有無(貴学で何らかの取組をされていますか?)⇒ 回答：あり 4校、なし 9校、不明 2校 ○ コンソ取組への企画参加希望(今後、コンソーシアムで阪神・淡路大震災30年を迎えるにあたり、取組を検討する際は、企画参加を希望しますか?) ⇒ 回答：希望する 1校、希望しない 1校、案件による 9校、不明 4校		
大学名	取組の有無	活動内容	コンソ取組への企画参加希望
大手前短期大学	あり	鎮魂式の举行 【参考】 https://www.otemae.ac.jp/news/19664	わからない
関西学院大学	あり	関西学院大学は阪神大震災によって23人の学生・教職員を失いました。激甚被災地・西宮にある大学として、その直後から、学生を中心とした震災救援ボランティア活動や各学部の教員による復旧・復興の研究が行われてきました。特に、阪神・淡路大震災10年をきっかけに、2005年には、人文・社会科学を中心にした、よりよい災害復興制度を研究・提案する「災害復興制度研究所」を設立し、人間復興・被災者支援を理念に、今まで様々な研究活動と関連団体とのネットワークを構築して支援を行っています。例えば、毎年、全学科目として、災害復興学A・B（春・秋）の授業を行っています。 また、阪神・淡路大震災30年を迎えて、阪神・淡路大震災30年目の証言研究会、復興KOBÉ30年の被災地責任を検証する研究会を立ち上げて研究活動を行っています。2025年1月11日～13日は、災害復興・減災フォーラム、国際シンポジウムを企画しています。その他、本年1月17日も、阪神・淡路大震災記念礼拝を行い、また、学生ボランティア活動も継続しています。 本学では、阪神・淡路大震災30年を迎える、単発的な取り組みだけではなく、常に阪神・淡路大震災の経験・教訓を継承するための持続的支援活動を行っています。	希望する
神戸大学	あり	神戸大学は阪神・淡路大震災で多くの学生、教職員を失いました。1995年1月17日震災当時より現在まで被災の体験、復興への取組を続け、毎年1月17日には慰霊献花式を執り行っています。 【神戸大学震災慰霊献花式（兵庫県南部地震犠牲者追悼行事）】 https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/event/20240117_01/ ・2023年11月に「阪神・淡路大震災30年事業委員会（委員長：藤澤正人学長）」を設置。阪神・淡路大震災から30年を機にあらためて全学的な蓄積を整理し、今後の研究や教育、教訓の継承等について考える事業を展開します。 【「阪神・淡路大震災30年事業委員会」を設置】 https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/2023_12_21_01/ ・2025年1月11日（土）「神戸大学 阪神・淡路大震災30年シンポジウム（仮題）」を開催します。30年事業委員会の傘下組織として4つの委員会があり1年かけて各々の取組を行います。 慰霊・追悼実行委員会 歴史資料・記録・映像実行委員会 大震災30年研究実行委員会 地域連携・ボランティア実行委員会	案件による

		・2024年1月27日（土）「阪神・淡路大震災をどう受け継いできたか～神戸大学生30年の語り継ぎ」を開催しました。（共催：人と防災未来センター） 【2024年1月27日開催の概要】『地域に出る 2024』16-17ページに掲載 https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/volunteer/index/Pamphlet.pdf 【2024年1月27日の配布資料】1～6ページ https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/volunteer/2022/volposter.pdf ・各教職員の研究や学外発信（シンポジウムほか）、学生の活動の情報を把握し、必要な支援や情報提供を行っています。 ・大学と学生ボランティア団体、地域と一緒に取組む事業を実施しています。	
甲南大学	あり	検討中	案件による
神戸国際大学	不明		案件による
神戸親和大学	不明		案件による
神戸海星女子学院大学	なし		案件による
神戸学院大学	なし		案件による
神戸市看護大学	なし		案件による
神戸女学院大学	なし		案件による
兵庫県立大学	なし		案件による
芦屋大学	なし		わからない
関西国際大学	なし		わからない
神戸女子大学 神戸女子短期大学	なし		わからない
神戸松蔭女子学院大学	なし		希望しない

2. 阪神・淡路大震災30年の節目に、各校において必要な情報や他大学、各種災害ボランティア支援団体、行政等に聞いてみたいこと、共有したい課題など（自由記述）	
関西学院大学	他大学、各種団体、行政などが、どのような取り組みを行っているかを知りたいと思います。
神戸大学	・阪神・淡路大震災30年はALLひょうごで取組むことが大切だと考えています。 各大学、コンソーシアムひょうご神戸の大学連携の取組みを人と防災未来センターに協力いただいて、掲示・発信してはどうか。 【6/5 人と防災未来センターの方へ相談】
神戸国際大学	教職員を対象に救急法を実施します。他大学のみなさまにお伺いします。 ・安否確認システムを導入されていますか。 ・学内にどの程度の防災備蓄品を保管されていますか。